

本庄市のごみにまつわる

「276g」って

何の重さ？

環境推進課 ☎25-1172



276g = リンゴ1個分

普段自分がどのくらい量のゴミを捨てているか考えたことはありますか。本庄市から排出されるゴミの量(家庭系ゴミ・事業系ゴミの合計)は、平成30年度で年間約3万2474t。一人1日当たりになると約1134gで、県平均の858gと比べて276gも多く、例えるとりんご1個分の重さになります。

一人1日当たりのごみ排出量
本庄市は県内ワースト2位

本庄市は7年連続で一人1日当たりのごみ排出量が県内ワースト3位以内に入っています。この状況から脱却するためには、市民一人ひとりの取り組みが大切です。小さなことでも毎日の暮らしの中からごみ減量にご協力ください。

平成30年度県内市町村の
一人1日当たりのごみ排出量

1位	美里町 (1,203g)
2位	本庄市 (1,134g)
3位	熊谷市 (1,123g)
⋮	⋮
63位	東秩父村 (692g)

環境省 平成30年度一般廃棄物
処理事業実態調査より

ごみが減るとどうして
何だろう？

メリット1 ごみ処理費用の削減

平成30年度に本庄市でゴミの処理にかかった費用は約5億5000万円。この費用の多くは、ゴミを出している私たち自身が、税金という形で負担しています。ごみ減量が進めばそれだけ処理費用を抑えることができます。

メリット2 環境保全

ゴミを運んだり、燃やしたりすることは二酸化炭素の排出につながります。ゴミを減らすことで、これらにかかるエネルギーの発生を抑制することができ、結果として二酸化炭素の削減による地球温暖化の防止につながります。本庄市の豊かな自然と美しい街並みを子どもや孫世代へと引き継ぐためにも、ごみの減量に取り組む必要があるのです。

ごみ減量作戦その1

余分な水分をカット 生ごみ水切り運動

ごみを減らすヒントは

生ごみにあり!?

市では1日平均で約51tの可燃ごみが家庭から出されています。その可燃ごみのうち約40%を生ごみが占め、その生ごみの重量の約80%が水分と言われています。

そのため、生ごみの水切りをすることにより大幅なごみ減量につながる可能性があることから、市は家庭での生ごみのひとしぼりをする「生ごみ水切り運動」を推進しています。

そのひと絞りが
大きな減量の一步

生ごみの水切りは、生ごみに直接触れることになり敬遠されがちですが、生ごみに触れずに水を切れるグッズなどを活用しながら



本庄市と(株)カインズが共同開発した水切り袋が全国のカインズ(一部店舗を除く)、オンラインショップで発売中



※写真は使用イメージです。

水切りを実践してみましよう。

例えば、市内の各家庭で生ごみを捨てる時に、小さじ1杯分の水を切るだけでも、年間約191tのごみの減量化につながります。

ごみ減量作戦その2

ダンボールコンポストで 生ごみから堆肥へ

微生物の力で生ごみを分解

ダンボールコンポストは、ダンボールを利用した生ごみ処理容器です。ダンボールの中のピートモス(水コケの一種)と、もみ殻くん炭(もみ殻を炭にしたもの)を混ぜた基材の中にいる微生物によって、投入した生ごみを分解する仕組みになっています。生ごみを投入した基材は、やがて野菜や草花を育てるために使える堆肥になります。

ダンボールコンポストを作るために必要な材料は、ホームセンターなどで比較的低価格でそろえることができます。室内やベランダでも手軽に始められ、電気代もかからない環境にやさしいダンボールコンポスト。市ホームページでは、作り方を紹介しています。



生ごみをダンボールコンポストに入れてかきまぜるだけ!

食品ロス削減

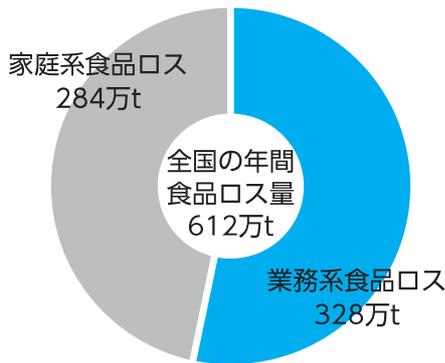
残さず食べて食品ロスゼロへ

食品ロスとは、本来であれば食べられたのに廃棄されてしまっている食品のことです。

作りすぎによる食べ残しや、野菜の皮のむき過ぎ等は、どなたも経験があるのではないでしょうか。食品ロスを減らすには「もったいない」の意識を持つことが大切です。

●食品ロス削減方法

- 食材は必要な分だけ買う
買い物前には冷蔵庫や食品庫の中をチェックしましょう。
必要なものをメモするのも有効です。
- 食材は使い切る
野菜の皮なども調理してみましょう。残った料理も、他の料理に作り替えるなど工夫して食べ切りましょう。



国民一人当たりの食品ロス量

1日 約132g

茶碗約1杯分のご飯に相当



年間 約48kg

年間1人当たりの米の消費量(約54kg)に相当

資料 総務省人口推計(平成29年10月1日) 平成29年度食糧需要表(確定値)

できることから
ごみの減量にご協力ください

新

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行われた外出自粛に伴い、家庭系ごみの排出量は増加傾向にあります。一人ひとりがごみの減量に取り組むことで、ごみの量は確実に減らすことができます。

また、地域のごみ収集所は自治会が管理しています。ごみが減ると、その分ごみ収集所の管理負担も少なくなります。

「ごみ」の減量化は市だけの取り組みで推進できるものではありません。必要以上の買い物をしない、食事は残さず食べきるといった皆さんが「できること」から取り組み、ごみの減量にご協力ください。

集団資源回収予定表 <回収品目は古紙類・缶類です>

回収場所	日程	時間	問合せ先
アスピーアこだま	10月4日(日) 11月1日(日)	午前9時~11時	ハートtoハート (佐久間さんち)
市役所	10月18日(日)	午前9時~午後1時	☎22-9300
本庄南公民館 ※布類回収も実施	10月10日(土)	午前9時~11時	佐久間さんち ☎22-9300
就労継続支援B型事業所「佐久間さんち」 (本庄高校北側)	10月16日(金)	随時受付	ポノポノ ☎23-2195

■令和2年7月分のごみの量

(可燃・不燃・有害・粗大)
 家庭系ごみ排出量 1924.91t
 1人1日当たりのごみ排出量 約797g
 前年同月比 +27g (+3.5%)
 事業系ごみ排出量 771.76t
 1人1日当たりのごみ排出量 約319g
 前年同月比 -68g (-17.57%)

※天候等の理由で変更になる場合もありますので、各団体にご確認ください。